

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)

〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

「いま私たちにできること」



令和2年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 早瀬 純子

こんにちは 前会長の櫛田武伯様より引き継ぎ、令和2年度県私保連の会長を務めさせていただきました岩瀬日本大学高等学校の早瀬です。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県私保連の総会をはじめ、関東地区私学保連理事会、日私学保連総会・研修会とほとんどが書面決議で異例の新年度となりました。私学振興全国大会が唯一例年通り開催されましたが、参加者は限定され、三密、ソーシャルディスタンスと感染拡大防止の措置をしたうえでの開催でした。そのような中での会長職、何をどうしたらよいかすべてが初めてのことなので不安でいっぱいでした。

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」により、入学式挙行の有無をはじめ生徒の臨時休業等の措置、オンライン授業の導入等皆様方の学校、保護者会活動も大幅に制限され、心身ともにご苦労があったことと存じます。

コロナ禍によって従来通りのことが行えなくなり、学校では「対面授業」から「オンライン授業」へとITを駆使した新しい形で対応されました。「オンライン授業」の準備に費やした先生方の負担、パソコン購入から環境設定にかかる費用、環境づくりなど学校、家庭それぞれが大変だったことと思います。

IT化に伴いある意味便利にはなりましたが、学校再開で生徒たちが元気に登校する姿や友達と生き生きと楽しそうに話す姿を見ると、直接ふれあいながら、人々とのコミュニケーションの大切さを感じました。効率化を図ることも重要ですが、人間らしさは忘れてはいけないと痛感しました。

この未曾有の状態下で、どのように行動するべきかを判断できるようになる必要があると思います。どんな状態でもそこで対応できる力を持つこと、ポジティブに物事を考えられるように方向づけてあげることが、このコロナ禍の中、私たち大人が次世代とともに学んでいくべきことだと思います。

保護者会は、現時点での状況を鑑み、時代に沿った要望等を私学協会とともに私学に対する支援をしていきます。

まだまだ新型コロナウイルス感染は終息する兆しが見えませんが、お互いが協力し合い「今何ができるか」「今なにをすべきか」を考え行動していきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会（略称「県私保連」）は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和57年、全国私学父母の会（現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」）と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成19年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校PTA連合会私学部会（略称「私学部会」）の私学三団体が連携・協調して私立高等学校等経常

費助成に関する請願・陳情の活動をしてまいりました。

平成22年5月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

令和2年度役員

- 会長……早瀬 純子
(岩瀬日本大学高等学校父母と教師の会顧問)
- 副会長……大沼 裕子
(鹿島学園高等学校PTA会長)
- 副会長……齊藤 克朗
(岩瀬日本大学高等学校校長)
- 理事……吉田 正一
(常総学院中学校高等学校父母の会会長)
- 理事……星野 智子
(水戸英宏中学校教育後援会会長)
- 監事……櫛田 武伯
(明秀学園日立高等学校PTA顧問)
- 監事……矢野 正彦
(明秀学園日立高等学校校長)

令和2年度事業報告

1 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会 (開催中止、書面審議)

- 議題1 令和元年度事業報告
 - 議題2 令和元年度収支決算
 - 議題3 令和2年度役員(案)
 - 議題4 令和2年度事業計画(案)
 - 議題5 令和2年度会費並びに収支予算(案)
- 全議題について可決された。

2 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会 連絡協議会理事会(代表者会)茨城大会 (開催中止、書面審議)

- 議題1 関東地区私学保連役員(案)及び日私学保連「理事候補者」(案)について
 - 議題2 関東地区私学保連令和元年度事業報告及び収支決算書について
 - 議題3 関東地区私学保連令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - 議題4 次期開催県の決定について
- 全議題について可決された。

3 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会茨城大会(書面審議)

各県の資料をとりまとめて送付し、活動状況報告を行った。

4 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会(日私学保連)総会(開催中止、書面審議)

- 議題1 令和元年度事業報告

議題2 令和元年度決算報告

議題3 令和2年度事業計画(案)

議題4 令和2年度予算(案)

議題5 令和2・3年度役員(案)

議題6 令和2年度青少年育成研修会並びに令和3年度総会・研修会について

全議案について可決された。

【日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会功労者表彰】

茨城県の会長を退任された前田寿紀様(平成30年度会長・江戸川学園取手中・高等学校)並びに榎田武伯様(令和元年度会長・明秀学園日立高等学校)の2名の在任中の功績を称え、日私学保連門傳会長から感謝状が贈られました。



私学助成に関する請願・陳情

県私保連は私学協会役員と共に私学助成に関する請願・陳情を行いました。

① 11月4日(水) 私学振興全国大会(東京メルパルクホール)

私学助成への保護者の願いと公教育における公私間の様々な格差是正を目指す決議が行われ、閉会後は大会決議をもって県選出国会議員への陳情を行いました。

② 11月25日(水) 県議会議長への請願・陳情

県議会議長に対し、経常費補助金の確保等を要望する請願書を提出しました。

③ 12月7日(月) 県知事・県総務部長への陳情

- 【要望事項】
- 1 経常費補助金について
 - 2 高等学校等授業料減免事業の拡充について
 - 3 教職員研修に対する支援について
 - 4 新型コロナウイルスの影響に対する保護者支援について



請願審査結果

県私保連が私学協会とともに県議会議長に提出した「令和3年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が採択された旨の通知を令和2年12月16日付で同議長よりいただきました。

表

彰

功勞者表彰

毎年度、会員保護者会及び県私保連の役員を退任された方の在任中の功績を称える表彰を行っています。
令和2年度は各会員保護者会会長からの推薦による功勞表彰16名並びに県私保連役員等への特別功勞表彰4名の計20名に感謝状を授与しました。

●功勞（会員保護者会）

明秀学園日立高等学校	関根 由喜
茨城キリスト教学園中学校	羽瀨 裕真
水城高等学校	根岸 治
鹿島学園高等学校	飯塚 和敏
岩瀬日本大学高等学校	坂寄 誠
霞ヶ浦高等学校	栗山 美香
霞ヶ浦高等学校	飯嶋真由美
霞ヶ浦高等学校	大沼 直美
霞ヶ浦高等学校	沼田 知美

●特別功勞（県私保連役員等）

前田 寿紀	会長・副会長・監事	津脇 正晴
	江戸川学園取手中・高等学校	豊田由紀子
竹澤 賢司	副会長・監事	遠藤 高正
	江戸川学園取手中・高等学校	中山 純子
小澤 依里	理事	米沢 智秀
	土浦日本大学高等学校	藤井 淳生
吉田 敏明	幹事	五頭 泰誠
	江戸川学園取手中・高等学校	(敬称略)

善行生徒表彰

県私保連加盟校の校長からの推薦により、他の模範となる活動をした生徒11名を称える善行生徒表彰を行いました。
表彰式は中止となりましたが、各校の校長先生から授与していただきました。

〔活動内容〕

部活動の下校中に意識が朦朧としている老人を発見し、救急車を要請するとともに元気づけて介護の手助けを行いました。

●江戸川学園取手中学校……………^{かん た そ ら}神 田 咲 空

〔活動内容〕

おもちゃ病院の子どもドクターとして6年間、おもちゃの修理や持ち主への説明等を担当して、おもちゃを大切に作る子どもの役に立つ活動を行いました。



●常総学院高等学校……………^{あい ほろ かず き}相 原 一 輝

〔活動内容〕

下校中に乗用車の脱輪により発生した交通渋滞に遭遇し、渋滞が解消するまで車両誘導を行って、脱輪して困っていた運転者と渋滞に巻き込まれた人々を救済しました。

●常総学院高等学校……………^{たか はし こう せい}高 橋 洸 星

〔活動内容〕

下校中にすれ違った老人が自転車から転倒した後、嘔吐などの症状を発したので救急車を要請し、到着まで人命救助にあたりました。



個人表彰

11名

●つくば国際大学高等学校……………^{はや しぎ なお}林 崎 直

〔活動内容〕

登校中に自転車で転倒した中学生を発見し、中学校へ連絡するとともに応急処置を行いました。

●つくば国際大学高等学校

……………	^{つち や} 土 屋	^{しゅ か} 寿 華	^{き とう} ・佐 藤	^{りん か} 梨 華
……………	^{ひろ せ} 廣 瀬	^{きや か} 爽 佳	^{そめ の} ・染 野	^{げん げん} 弦

〔活動内容〕

下校中に倒れている男性を発見し、救急車が到着するまで風を扇ぎ、水分補給をして人命救助にあたりました。



●江戸川学園取手高等学校

……………	^{せ た} 瀬 田	^{こう すけ} 浩 輔	^{い し い} ・石 井	^{こ はる} 心 温	^{き た} ・木 田	^{たい よう} 泰 陽
-------	--------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	----------------------

私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

令和3年度は高校生1人当たり368,334円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり337,153円（中等教育学校前期課程同額）の予算が措置されました。

なお、補助金の配分は、学校の規模（生徒数、教職員）等により算定した金額を交付しています。

（生徒1人当たりの補助金予算単価の推移）

県私学振興室資料（単位：円）

学校種		令和元年度	令和2年度	令和3年度
高等学校		359,816	364,428	368,334
中等教育学校	後期			
	前期	328,775	333,310	337,153
中学校		78,140	79,187	80,082
通信制高等学校（狭域通信制）				

注）通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況に関わらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収約910万円未満世帯に、月額9,900円（年額118,800円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・年収約590万円未満世帯については、月額33,000円（年額396,000円）を上限に支援金が支給されます。

（単位：円）

保護者の年収の目安	支給額上限（年額）
590万円未満	396,000
590～910万円未満	118,800
910万円以上	—

※年収とは、保護者の内どちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の目安です。

私立高等学校等授業料等減免事業

経済的理由により授業料等の納入が困難な生徒の就学機会を確保するため、生徒への軽減措置を行う学校法人に対して、県から補助金が交付されています。

注）私立学校によっては、独自の奨学金制度を実施していることなどから、事業を実施していない学校がある場合があります。

○入学金軽減事業（高等学校全日制課程、中等教育学校後期課程、専修学校高等課程を対象）

保護者の年収の目安	県からの補助上限額
350万円～590万円未満	入学金に対し48,000円
350万円未満	入学金に対し96,000円

○授業料軽減事業（小学校、中学校、中等教育学校前期課程を対象）

保護者の年収の目安	県からの補助上限額
400万円未満	小学校：100,000円（国事業分※） 中学校：180,000円から国事業分※を控除した額（1割学校負担）を補助

※国事業分：私立中学校等修学支援実証事業による支援

私立高等学校等奨学給付金

すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（市町村民税所得割額が非課税の世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

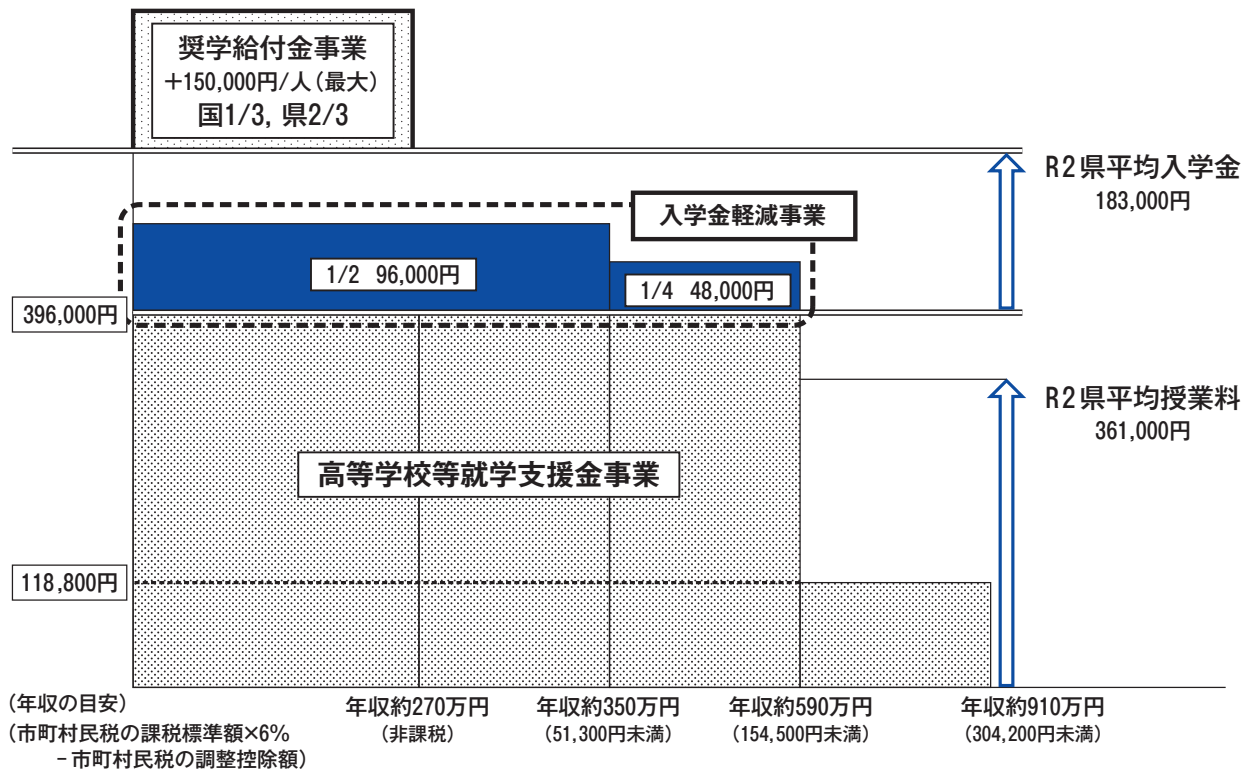
注）保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

県私学振興室資料（単位：円）

世帯区分	支給額
生活保護受給世帯（全日制等・通信制）	52,600
非課税世帯（全日制等（第1子））	129,600
非課税世帯（全日制等（第2子以降））	150,000
非課税世帯（通信制）	50,100
生活保護・非課税世帯（専攻科）	50,100

参考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図 （高等学校全日制の場合）



- (注) 1 奨学給付金は授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業
2 就学支援金は授業料の負担軽減する事業
3 年収は、保護者のどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安

会員校紹介

水戸英宏中学校

本校は、「知の創造者たれ」を教育理念に2004年に開校しました。一人ひとりの創造力と個性を大切にした教育を展開し、幅広い教養と高邁な識見を備え、国際社会の中でリーダーとして活躍できる人材を育成することを教育方針に掲げています。個々に応じた進路指導の推進と進学重視型教育の徹底により、開校以来一貫して人間力の育成と一人ひとりの進路目標の実現に努めています。高い目標や夢に向けて、全力で挑戦するプロセスを通して様々なことを学び、「人として成長する」ことを目指しています。

また、本校は、SDGs教育にも早くから取り組んでいます。2015年より地域のボランティア組織と協力し、学校に隣接する湿地でのホタルの再生・保全活動をはじめ、地元サッカースタジアムでのゴミ分別を呼びかける啓発活動、地元環境フェアやフェスティバルでのエコ工

作の展覧、世界湖沼会議や世界環境サミットなど国際的な環境会議への参加などを積極的に行っています。こうした活動が認められ、2021年、日本最大級の環境プレゼンテーション大会「脱炭素チャレンジカップ」において、2017年の環境大臣賞につづいて、文部科学大臣賞を受賞しました。

このように、本校は、高い学力とグローバルな視野を身につけることにより、時代の要請にあった優れた人材の育成に努めています。



常総学院中学校・高等学校

本校は「知育・徳育・体育の円満なる人物の育成」との建学の精神に則り、昭和58年創立以来、「自主・誠実・創造」を校訓に掲げ、「文武両道」を基本方針として、『社会に貢献するリーダーの育成』を目標に教育活動を展開しております。

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」を涵養し、未知の状況にも対応できる真のエリートを育てるために、育てたい能力JOSO Core Skillと、育てたい資質JOSO未来Skillを掲げ、その育成に力を入れています。前者は、本校生徒の核となる部分としてゆるがせにできないSkill（自己肯定力・学力・タフネス）であり、後者はAI社会とグローバル社会の進展を見据えたとき21世紀型のリーダーにとって必須となるSkill（英語力・異文化受容力・人間関係力・創造力・問題発見力・論理的思考力・行動力・プレゼン力）となり、両者併せてブランドデザインとしています。

本校の父母の会は、本部と9の支部から構成されています。本部も各支部から選出された役員が、広報、生徒指導、各学年の専門委員会等を通して本校教育活動への協力助成ならびに研修活動を行っています。支部独自の活動としては、地区懇談会、祭礼等校外指導、研修旅行などに多くの保護者の参加があり、教員との意見交換も活発に行われています。また、複数の支部の合同企画による講演会など支部間の交流・連携を図った取り組みも精力的に行われています。



会員 令和3年4月現在 26保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常盤大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・霞ヶ浦高等学校附属中学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久中学校高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手中・高等学校・常総学院中学校高等学校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

令和3年度の活動予定

6月15日(火) 総会

6月25日(金) 関東地区私学保連理事会(千葉)

7月8日(木)～9日(金) 日私学保連総会・研修会(郡山)

8月27日(金) 関東地区私学保連代表者会及び研修会(千葉)

10月18日(月) 私学振興全国大会(東京・メルパルクホール)

11月22日(月) 研修会

編集後記

「私学いばらき」第11号をお届けいたします。コロナ禍の中、社会情勢が激変し、教育を取り巻く状況も厳しさを増す一方です。厳しい状況下でも、私学助成に関する請願・陳情活動を通じ、私学の重要性を訴えてまいります。広報誌発行にあたり、原稿を準備いただいた皆様、事務局の皆様にご礼申し上げます。